

2021年7月30日 全7頁

Indicators Update

2021年6月鉱工業生産

自動車工業の反動増により生産指数は2カ月ぶりの上昇

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬
エコノミスト 小林 若葉

[要約]

- 2021年6月の生産指数は前月比+6.2%と市場予想（同+5.0%）を上回り、新型コロナウイルス感染症が流行する直前の2020年1月並みの水準まで持ち直した。5月に半導体不足の影響を受けて大幅に減産した自動車工業で反動増が見られたほか、幅広い業種で前月の減産の反動増が表れた。
- 先行きの生産指数は緩やかに上昇するとみている。新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及による経済活動の正常化の進展が幅広い業種の増産を後押しするだろう。世界的な半導体不足への対応のため、集積回路などの半導体や同製造装置の増産も見込まれる。自動車生産の挽回生産も見込まれるが、部品の主な供給源である東南アジア諸国での感染拡大や半導体不足の影響が残ることにより、緩やかな回復にとどまるだろう。製造工業生産予測調査によると、7月は前月比▲1.1%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲2.2%）、8月は同+1.7%と見込まれている。
- 8月6日公表予定の6月分の景気動向指数は、先行CIが前月差+2.0ptの104.6、一致CIが同+3.6ptの95.7と予想する。この予測値に基づくと、一致CIによる基調判断は「改善」に据え置かれる。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2020年		2021年					6月	7月	8月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
鉱工業生産	+0.7	▲0.2	+3.1	▲1.3	+1.7	+2.9	▲6.5	+6.2		
コンセンサス								+5.0		
DIR予想								+6.5		
生産予測調査									▲1.1	+1.7
補正值(最頻値)									▲2.2	
出荷	+0.9	▲0.6	+2.9	▲1.3	+0.4	+3.1	▲5.5	+4.3		
在庫	▲1.2	+0.6	▲0.9	▲0.7	+0.4	▲0.1	▲1.1	+2.3		
在庫率	▲1.0	+0.1	▲4.9	+1.0	+0.2	▲2.4	+1.3	▲0.3		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】自動車工業の大幅増産が生産指数を押し上げ

2021年6月の生産指数は前月比+6.2%と市場予想（同+5.0%、Bloomberg 調査）を上回って2カ月ぶりに上昇し、新型コロナウイルス感染症が流行する直前の2020年1月並みの水準まで持ち直した。5月に半導体不足の影響を受けて大幅に減産した自動車工業で反動増が見られたほか、幅広い業種で前月の減産の反動増が表れた。経済産業省は基調判断を前月の「生産は持ち直している」に据え置いた。

生産指数を業種別に見ると、15業種中11業種が前月から上昇、2業種が低下となった。とりわけ自動車工業（前月比+22.6%）が大幅に上昇し全体を大きく押し上げた。また生産用機械工業（同+8.9%）などで前月の低下の反動による上昇が見られた。自動車工業では普通乗用車、駆動伝導・操縦装置部品、自動車用エンジンなどの品目が、生産用機械工業では半導体製造装置やフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与した。一方、輸送機械工業（除. 自動車工業）（同▲7.2%）と窯業・土石製品工業（同▲0.7%）は低下した。

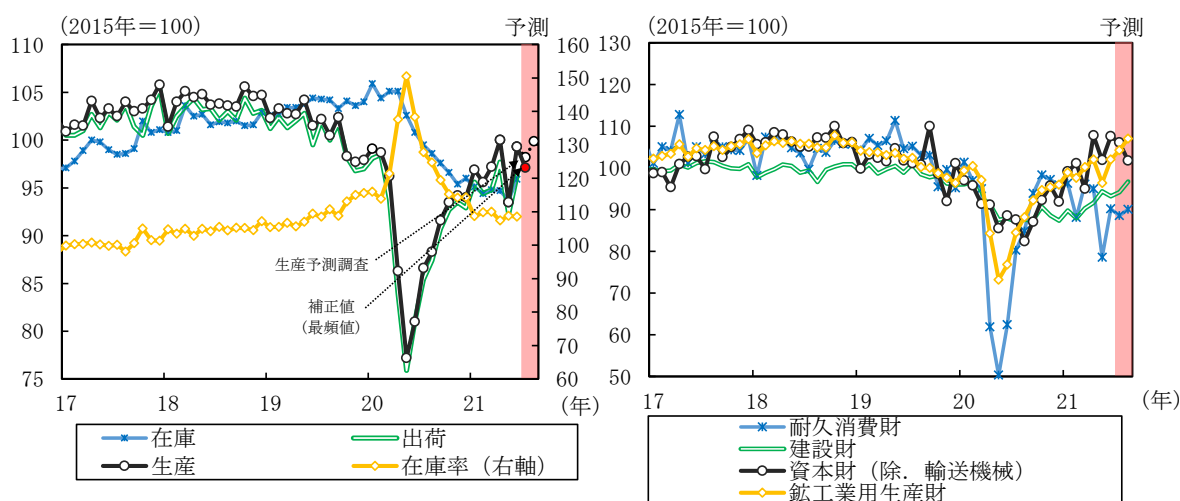
財別では、耐久消費財（前月比+14.8%）、資本財（除. 輸送機械）（同+5.6%）、生産財（同+5.5%）などが上昇した一方、建設財（同▲1.3%）は低下した。

【出荷・在庫】出荷指数・在庫指数ともに自動車工業が上昇に寄与

6月の出荷指数は前月比+4.3%と2カ月ぶりに上昇した。業種別に見ると、自動車工業、鉄鋼・非鉄金属工業、生産用機械工業などを中心に15業種中12業種が上昇した。財別に見ると、非耐久消費財や資本財（除. 輸送機械）、生産財などが上昇し、建設財は低下した。

在庫指数は前月比+2.3%と3カ月ぶりに上昇した。主に自動車工業における在庫の増加が全体を押し上げており、前月の在庫減の反動が表れたとみられる。一方、出荷指数の上昇幅が在庫指数のそれよりも大きかったことで、在庫率指数は同▲0.3%と2カ月ぶりに低下した。

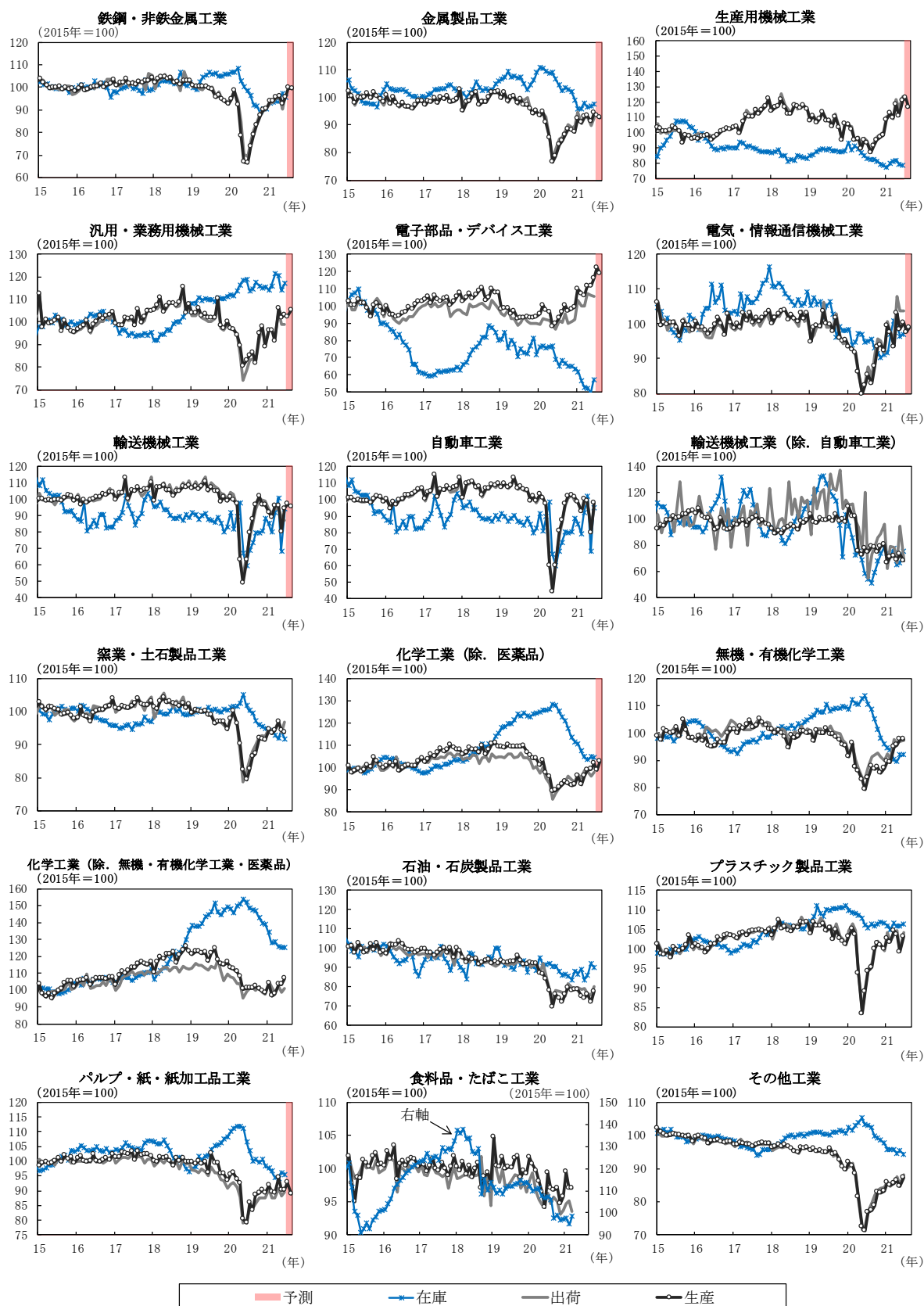
図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



(注) 生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值（最頻値）。そのほかシャド一部分の値は、製造工業生産予測調査による。

(出所) 内閣府、経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業（除. 医薬品）の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【先行き】世界経済の正常化を背景に生産指数は緩やかな上昇基調が続く

先行きの生産指数は緩やかに上昇するとみている。感染力の強い新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）が世界的に流行する一方、ワクチンの普及による世界経済の正常化の進展に伴い輸出が増加し、幅広い業種で増産を後押しするだろう。世界的な半導体不足への対応のため、集積回路などの半導体や同製造装置の増産も見込まれる。自動車の挽回生産も見込まれるが、部品の主な供給源である東南アジア諸国での感染拡大や半導体不足の影響が残ることにより、緩やかな回復にとどまるだろう。

製造工業生産予測調査によると、7月は前月比▲1.1%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲2.2%）と減産が見込まれている。業種別では化学工業（同▲2.9%）や電気・情報通信機械工業（同▲2.6%）など11業種中5業種が減産の計画である。他方、電子部品・デバイス工業（同+5.2%）や輸送機械工業（同+2.7%）などは増産の計画となった。

8月の見通しは前月比+1.7%と前月から増加する見込みだ。7月に減産を計画している化学工業（同+4.0%）などが全体を押し上げる見通しとなっている。他方で輸送機械工業（同▲1.3%）では減産が計画されており、報道によるとトヨタ自動車やホンダが8月に国内で減産する予定だ。半導体不足に加え、ベトナムなどでの感染拡大による部品調達の遅延が背景にあるとみられる。ベトナムは日本の自動車メーカーにとって重要な部品供給源だが、首都ハノイでは感染拡大を受けて自宅待機を求める措置などがとられている。依然として感染拡大が続いていることから、経済活動の抑制による部品調達への影響は今後も継続するとみられる。

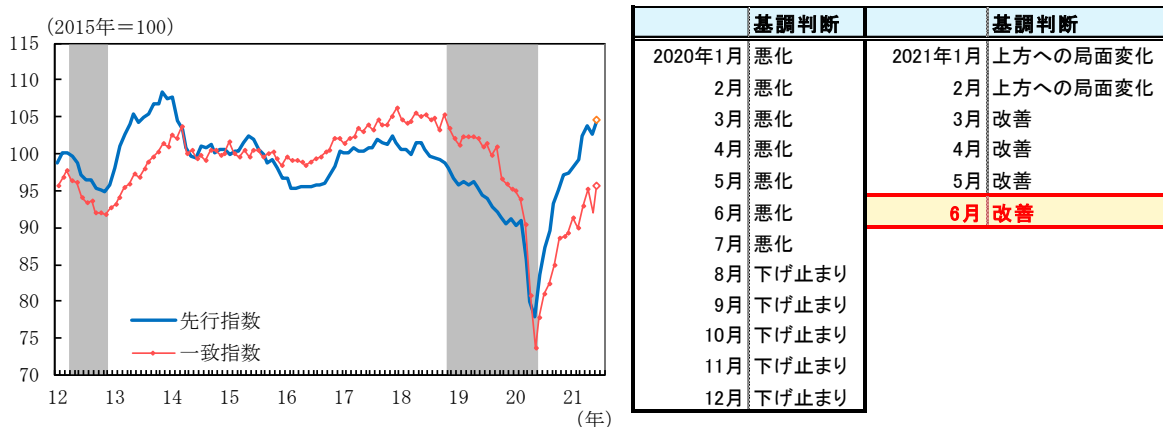
なお3月19日に火災が発生したルネサスエレクトロニクス子会社の工場では、半導体出荷量が火災発生前の水準を回復するのは当初の見込みで7月第3週頃であった。7月29日のルネサスエレクトロニクスの決算会見ではこれが8月中旬へずれ込むとの見通しが示されており、国内では自動車などの挽回生産が後ずれする要因となるだろう。とはいえ同工場での生産は既に火災前の水準を回復しており、半導体不足による自動車生産などへの影響は徐々に小さくなっていくとみられる。

【6月景気動向指数】生産指数などの上昇により基調判断は「改善」に据え置きか

鉱工業指数の結果を受け、8月6日公表予定の6月分の景気動向指数は先行CIが前月差+2.0ptの104.6、一致CIが同+3.6ptの95.7と予想する（**図表4**）。先行指数では構成指標のうち、消費者態度指数や新規求人数（除学卒）などが改善した。他方、一致CIでは構成指標のうち、生産指数（鉱工業）や鉱工業用生産財出荷指数などが改善した。この予測値に基づく、一致CIによる基調判断は機械的に「改善」に据え置かれる。

当面の景気は均してみれば緩やかに改善するだろう。海外経済の回復を受けて輸出や生産の緩やかな増加が継続するとみている。ただし国内では新型コロナウイルス感染症が急速に拡大しており、感染拡大防止措置の対象地域が拡大される見込みだ。政府は神奈川、千葉、埼玉、大阪に緊急事態宣言を発出するほか、東京、沖縄に発出している緊急事態宣言を8月31日まで延長する方針を固めた。また北海道、石川、兵庫、京都、福岡にはまん延防止等重点措置を適用する予定だ。これにより飲食店に対する営業制限などが長期化することで企業収益や雇用への悪影響が大きくなり、景気回復のペースを抑制するとみられる。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移

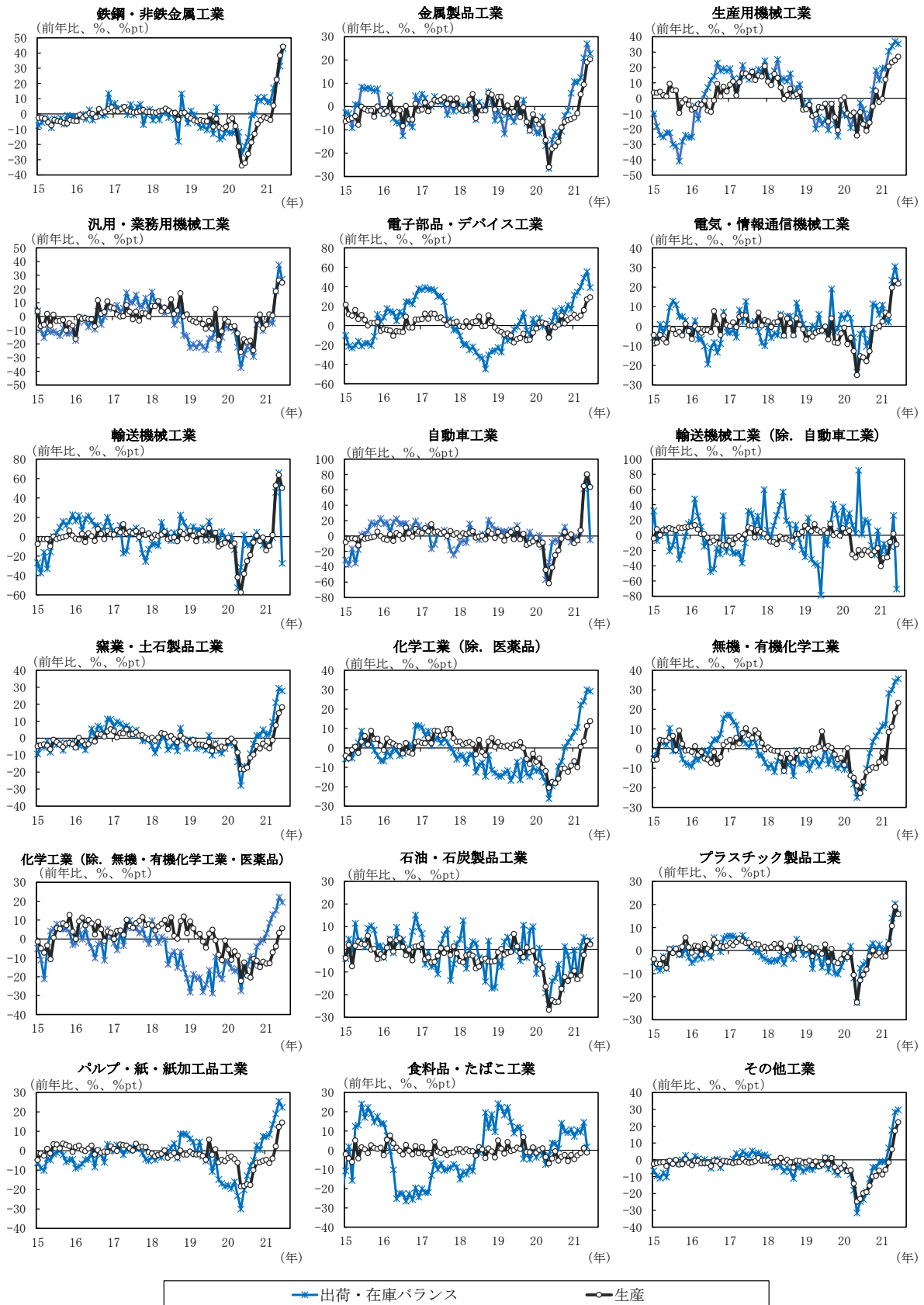


（注1）左図の直近は大和総研による予測値。右図の2021年6月の基調判断は大和総研予想。

（注2）シャドーは景気後退期（直近は暫定）。直近の景気の谷は大和総研による判断に基づく。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

業種別 出荷・在庫バランスと生産



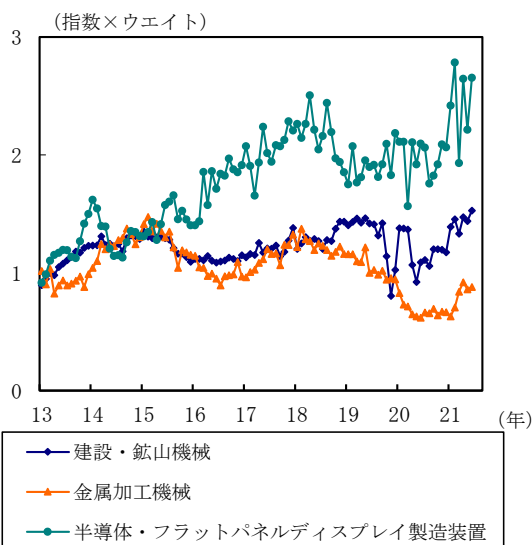
(注1) 出荷・在庫バランス=出荷前年比-在庫前年比。

(注2) 食食品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

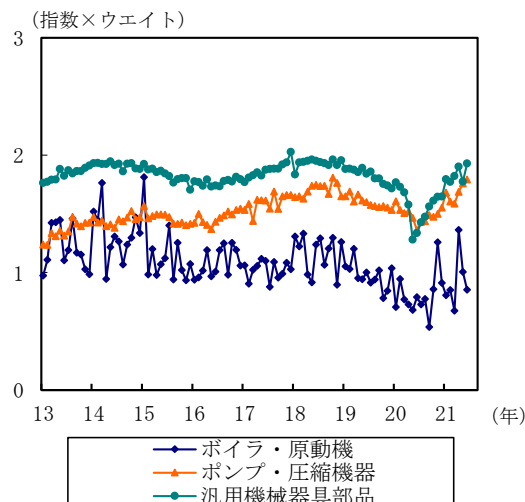
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

主要産業の生産動向(季節調整値)

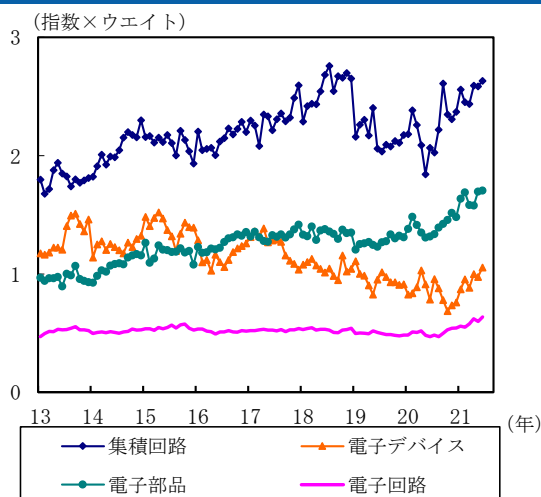
生産用機械



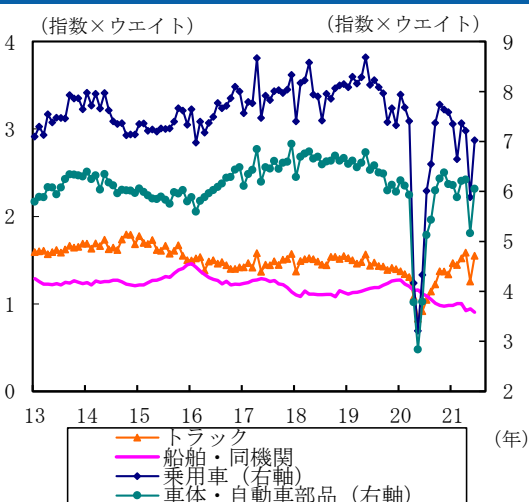
汎用・業務用機械



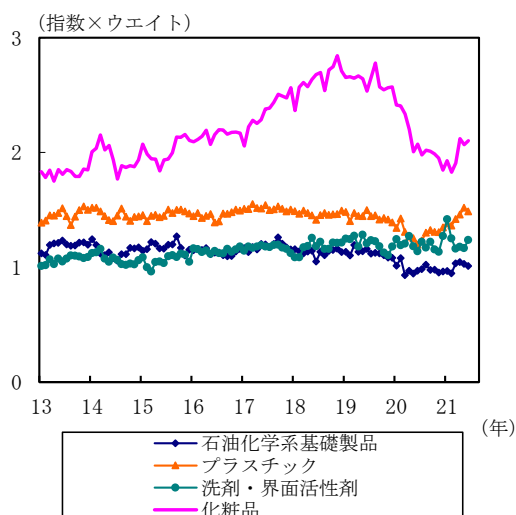
電子部品・デバイス



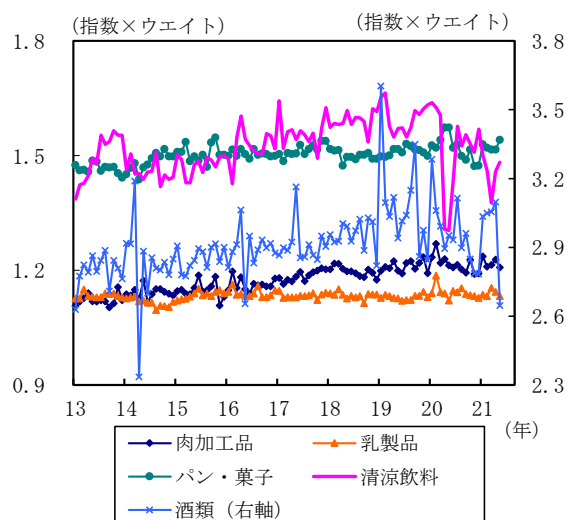
輸送機械



化学



食品・たばこ工業



(注) 食品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成